



世羅高 同窓会報

**広がる
母校の輪**

平成 25 年度総会・懇親会

7月13日(土)甲山農村環境改善センターにて
来賓・同窓生、250名が集う!

第16号発刊によせて

発行
広島県立世羅高等学校
同窓会
世羅郡世羅町本郷870番地



同窓会長 小島 敏文
(昭和44年卒)

同窓会会員並びに地域の皆様方には、ご健勝にてご活躍の事と拝察お慶び申し上げます。また、日頃より本会の運営に格別のご理解ご支援を賜わり、心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年九月、二〇二〇年夏季オリンピック・パラリンピック東京開催が決定されました。実に五十六年振りの事です。皆様の記憶にも新しい事と存じます。

七二年札幌・九六年長野の冬季オリンピックと併せて日本開催四回目となります。政治・経済・社会状況・外交交渉等々さまざまな問題山積の中、実にすばらしい久々の明るいニュースであったと思えます。この夏季オリンピック・パラリンピック開催は、単にスポーツの祭典であるのみならず、経済効果・教育効果・都市基盤整備・

交通網の整備・観光誘致(政府は、二〇二〇年までに二千万人の外国からの観光客達成を目指しています)など、計り知れない効果が期待されると思っております。何より五十六年前の東京オリンピックの感動を再び共有できることでしょう。

現在の世羅高校在学学生は、二〇二〇年には二十二歳から二十四歳で学生である人もいるでしょう。世羅高校の卒業生も含め一人でも二人でもオリンピック選手が誕生してくれる事を望みます。共に感動を共有することができれば、こんなに嬉しいことはありません。

また世界中の人々が集うこの大会に、たとえ選手としてではなくとも、運営スタッフや通訳など様々な形で関わりを持ち、その場その場で輝やいて欲しいという希望も持っています。ケニア人留学生の受け入れ、台湾の大同高級中学校・ニューヨークのドノバン高との姉妹校など、皆様のご理解ご協力の下、早くから国際交流を行っています。どんどん世界はグローバル化していく中、特に若い人達はその中に積極的に飛び込んでいくって欲しいと思います。

さらに、この世羅町を中心とした地域に各国の選手達の事前合宿地として誘致できればと考えています。その事により、子供達にスポーツ・文化交流の目を醸成し、限らない夢と成長を促すことが期待できると思えます。実現の為、皆様のご支援ご協力をいただければ幸いです。

終わりに、母校世羅高校発展の

為、皆様と一緒に一層の努力を致す決意でございます。「文武不岐」の精神を糧に各方面で益々活躍されますことを期待し、ご挨拶とさせていただきます。

なお、本同窓会総会の諸準備にご努力頂きました当番幹事の皆様・本部役員の方々に、心から感謝申し上げます。

新たな伝統を!



校長 森嶋 勝也

同窓会会員の皆様には、益々ご健勝のことと拝察いたします。平素は本校教育活動、とりわけ陸上競技部には多大な御支援を賜り心からお礼申し上げます。

おかげさまで本校は本年度百十八年目を迎えました。少子化の時代の流れを受けて、生徒数は少なくなりましたが、今年三月には新たに百六十六名の同窓生を送り出しました。彼らに母校「世羅高校」を大切に思い、力強く社会を生き抜いてもらうよう言葉を贈るとともに、地域や全国はもとより海外においても活躍されている世羅高校同窓生の仲間入りできたことを誇りに思い、同窓会が益々充実・発展されるよう積極的に同窓会活動に参加し、同時に、母校を

支えてくれるようお願いしました。先日、昭和二十八年に卒業された十数名の同窓生の皆さんが学校を訪問され、校門付近の庭園や陸上部の練習風景、玄関・校長室などに陳列してある数々の栄光の跡や姉妹校からの贈り物を見ていただきました。校舎に当時の名残は少ないようでしたが、格技場の外観に旧制世羅中時代の講堂を思いおこされたのではないでしょう。また、格技場の入口には「世館」と刻まれた大きな木版が掲げてあり世羅高の歴史を感じていただけたものと思います。

幾多の変遷を重ねてきた本校も、昭和四十一年から四十三年にかけて建築された本館(1号館)も耐震対策として解体・新築工事が行われることとなり、今年の秋に着工予定です。平成二十八年二月の完成予定で、百二十年、百五十年と未来へ繋ぐ新しい校舎ができることに期待を寄せています。

さて、グローバル化が急速に進む今の時代、本校の生徒には、花が美しく、フルーツ・野菜の美味しい故郷を大切に思い、世羅高校で学ぶことを誇りに思いながら自分自身の中にしっかりとしたアイデンティティを持った人に育ってほしいとの理念を掲げて教育活動に取り組んでいます。

その一端を紹介しますと、農業経営科では、農作物の生産だけでなく、本県で最も新しく充実した食品加工棟を使って、世羅産大豆をはじめ世羅の野菜や果物を使った豆腐やジャム・ケーキなどの食品開発を行う新しい形の学習に取

組んでおり、世羅高から地域の新たなヒット商品の発信を目指しています。生活福祉科では、町内外の施設等に協力をいただいて介護・保育などを体験的に学習し、卒業後は地域や近隣の介護福祉施設等に就職させていただき地元で頑張ってくれている生徒もいます。歴史の流れを受け継いだ裁縫の学習も浴衣やドレスの制作に熱心に取り組み、三年生は3年間の学習の成果として自作の着物でファッションショーを行うことが学校の恒例行事となっています。

私たち教職員は、本校の生徒一人一人が世羅高校の伝統を受け継ぎ新たな歴史を刻む若者として、知性と品格を備えた人に育ってほしいとの願いを持ち日々取り組んでおります。世羅高で学ぶ生徒たちが、これからの歴史を刻み、学校・同窓会・地域を支えてくれるものと信じています。同窓会会員の皆様には、本校に対しまして引き続き温かいご支援とご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年度同窓会総会について



平成25年度同窓会当番 幹事長 長久 信

一昨年の春頃だったか、副会長

から来年はE・Fのグループが当番幹事を引き受ける順番になり、幹事長は今年当番幹事となった者のなかから選ぶので、引き受けてくれないだろうかと打診され、当初は返事を濁していました。

その後、同年の同窓会総会が開催され、私は所用で欠席したのでその場の状況はわかりませんが、同じFグループの若い人が受けてくれると聞き、これで重い役が来なくてよかったですと内心ほっとしたのもつかの間、昨年の春に再び依頼され、同級生でもあり趣味を同じくし、一緒に活動しているので断りにくく引き受けることになりました。今の自分があるのも母校のおかげだし、子供たちもお世話になっていきますので最後のご奉公と思ひ頑張る気持ちになりました。

卒業当初は恩師を訪ねて学校へ行ったこともありましたが、その後はだんだん疎遠になり、ほとんど校門をくぐることはありませんでした。

ある日、突然世羅高校同窓会から届いた葉書は常任委員会の案内誰からも打診はなく、いつ、どなたから推薦されたのか不信を持ちながら参加したのが最初のかかわりです。それまではクラス会と違って、同窓会は私たちとは関係のない役員だけが集まるものと思っていました。

昨年の春の役員・常任理事会で当番幹事長引き受けの挨拶、いよいよ本決りとなり、事の重大さに身の引き締まる思いと、うまくできるだろうかという不安が入りまじっていました。



最初の当番幹事会、私たちFグループが主にならねばとの気負いから集まったものの、分からないことばかりで進展もみられず、またパソコンに長けた者は限られていて時間ばかりが過ぎて行きました。このままでは前に進まないのが前年担当されたEグループの人たちに助言をもとめ、今までの資料を活用したりして、やっと前に進み始めました。チケット配布、ポスター貼り等を済ませ、一次集約で出た数字に、この調子でいけば昨年の参加者を上回るかもとほっとしたものです。

久しぶりに聞く名前、同級生からの電話で36年卒が当番幹事と言う情報が広まり、多くの36年卒組が参加してくれると聞き、同級生の有難みを身に染みて感じました。最終集約で二百五十名になり、いろいろハプニングはあったものの、当番幹事一同やり終えた達成感に満ち溢れていました。

スーパーマーケット

三谷屋

門田プラザ店・御調店・大和店・パオ店

株式会社 もみの木畳店

世羅郡世羅町小世良380

TEL (0847) 22-1426

FAX 0847-22-1893

<http://www.mominoki-tatami.com>

は、「良かったよ」と声をかけていただき嬉しさもひとしおで、多くの人と知り合いになり心から感謝しています。そして当番幹事の皆さんには大変お世話になり有難うございました。

還暦年の同窓会総会を終えて



井口 孝明 (昭和46年卒)

世羅高校を巣立って、四十二年を数える一昨年の還暦年に当たる母校同窓会総会に於いて会う同級生の容姿は、時の経過には抗えない事を感じながら、高校時代の思い出、また年金や健康の話等に旧交を温め、話は絶えないところでした。

昨年は当番幹事の学年という事で、任務に当たらせて頂きました。その学年の先輩・同級生・後輩と協力して任務を全う出来たのは、感慨深いものがありました。これによって、面識の無かった同窓生と知己を得た事は、私にとって何よりの財産を得たものと思えます。何よりも総会・懇親会は、楽しくなければなりません。しかし、活性化された同窓会総会の開催が同窓会の最終目的であるとすれば、早晚組上の魚への道を辿るのは、火を見るより明らかではないでしょうか。

よって、同窓会総会は同窓会員相互の交流も勿論大切ではあります。同窓会会員の絆が深まる事により、会が活性化され在校生へのより一層のバックアップ体制が確立すれば、大変有意義な事ではないでしょうか。ひいては、優秀な人材の輩出は勿論ですが地域社会の次世代を担う立派な後輩達が巣立ち、母校の限り無き発展を願うものです。

「改革」の原点を忘れないように



同窓会副会長 瀬尾 圭三 (昭和36年卒)

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年も我が母校同窓会「総会・懇親会」を迎える時期となりました。母校同窓会の改革は今年で四年目となり、同窓生の皆様に少しは関心あるいは理解をいただけるようになってきたのかなと推察しています。

これまでの改革の状況、そして今後の取組みについてご報告し、同窓生の皆様のご理解、ご協力をお願いするさせていただきます。一 「同窓会改革」第一期、平成二十一年に改革検討委員会を設置し、改革について一年間検討し、同窓会規約、運営の在り方等抜本的な改革案をまとめ、平成

二十三年度から取り組みをスタートしています。平成二十三年度同窓会「総会・懇親会」を「同窓会改革元年」として位置付け、前卓治幹事長さん(昭和三十四年卒)を中心に改革の趣旨を踏まえ、役員・常任理事、幹事さんのご努力のお蔭で百七十名という多数の同窓生に参加していただきました。近年の総会参加者数と比較すると予想をはるかに超えるものでした。

平成二十四年度、「同窓会改革二年目」は重田善吉幹事長さん(昭和四十五年卒)のもと多様なアイデア、創意工夫を凝らした画期的な取組となり参加者は二百名となりました。平成二十三・二十四年度の取組みは、今後の取組みの見本となります。平成二十五年「同窓会改革三年目」は長久信幹事長さん(昭和三十六年卒)のもと、三年目のプレッシャーを背に懸命に取り組んでいただき、二百五十名の参加者となりました。まさに改革の念願が成就してきたと言えると思います。母校の同窓会はまだまだエネルギーがあるのだと安堵いたしました。これまでの取り組みを「同窓会改革」第一期と考えております。

二 「同窓会改革」第二期、(一)改革四年目の目標 改革四年目の今年は、宗岡雅文幹事長さん(四十七年卒)を中心に懸命に取り組んでいただいています。今年度参加者は三百名を目標としております。この目標は漠然としたものではありません。過去三年間の出席者数の増加率、参加者の地域別人数、地元郡内の居

住者数等々を分析、勘案したものです。ただし単に掲げただけで取り組みが伴わなければ水泡に帰します。幹事・役員・常任理事の皆さん全員の努力に期待します。(二)改革第二期に求めるもの ア 改革第一期は総会参加者の一定の人数確保、所謂ハード面の改革に主力を注ぎました。改革第二期は、ソフト面の改革と考えています。

a 支部組織の再建(新たな組織化・再編成)について 昨年から掲げていますが、なかなか遅々として進まず、容易なことではありませんが、今年は一歩でも二歩でも前進したいと思っています。 b 新たな志向について 学科別の同窓会、還暦同窓会、古希・喜寿・米寿等々年齢の節目になる対象者で構成する同窓会、卒業後三十年・四十年・五十年等々卒業後の節目になる対象者で構成する同窓会の設立等々の新たな志向を提起したいと思えます。これらが相互に関連し、補完し合い、協力し合うことで大きな力になります。これらを通して卒業生の母校愛の醸成、同窓会への参画意識の高揚、同窓会の活性化に繋がります。伝統校に相応しい同窓会となるのではないのでしょうか。終わりに同窓生の皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。



森田尚文館 (S29年卒) 世羅郡世羅町 TEL 22-0136(代) FAX 22-3051

上野鉄工所 上野 悟(昭和52年卒) 〒722-1112 広島県世羅郡世羅町本郷36-3 TEL&FAX(0847)22-1322

委員会だより

一、総務委員会

総務委員長 瀬尾 圭三

(昭和36年卒)

総務委員会は、「改革」の原点を忘れないように」の中で明らかにしておりますように、改革第二期の実現に向けて全力を傾注していかねばなりません。特に同窓生の多数居住されている大都市での支部の組織化は喫緊の課題です。委員の皆さん全員で取り組んでまいります。

二、財務委員会

委員長 近田谷 正治

(昭和42年卒)

昨年度の同窓会一般会計の執行状況と本年度予算案に関して、本年度は、同窓会館の活用が増えることに伴い、同窓会館へ電力副メーターの設置を予算計上しています。また、世羅高校の周年行事への対応等として予備費の項目を起こしています。

昨今、広島県においては山間部や島嶼部等の高等学校の統廃合が話題になっております。本校においても、当地域の急激な少子化の状況の中で、入学生徒の減少傾向が顕著であり、このことに対する同窓会としての対応の在り方も今後の課題となるところであります。

三、広報委員会

委員長 大田 良晴

(昭和37年卒)

業務内容として、「同窓会、学校の広報活動」です。現在は「同窓会報」の発行が中心となっております。活動内容を拡げていきたいと思っておりますが、いまだ実現できていないところがあります。

委員会を開き、各委員の協議により良い活動ができるように取り組んでいきたいと思っております。

また「会報」が同窓生の多くの皆さんに読んでもらうために、配布方法等についても再考の必要があると思っております。今後とも努力を重ねて参ります。

四、事業委員会

委員長 阿部 玲子

(昭和29年卒)

二十五年度に引き続いて、「学校の食堂と自動販売機」について委員会を開きました。食堂の方が、「今日は火曜日なので、うどん百八十円のサービステーなので沢山来られましたよ。」と嬉しそうに話して下さいました。栄養も良くて値段も安くをモットーにして頑張っておられるとの事でした。時には売れ残る事もあり、勿体ないからできるだけ完売したいとも云われました。

自動販売機の件も校内に新しく設けられ、ランニングウォーターが設置できるとの事一安心です。町内にも、何ヶ所か新しく自動販売機が設置出来る様、進んでいるとの事、嬉しく思いました。美味

五、母校振興委員会

委員長 波田 幸代

(昭和29年卒)

当委員会の取り組みについては、クラブ活動の支援に取り組みます。特に陸上競技部の育成発展のためには陸上競技部の育成発展のためには陸上競技部育成委員会PTAと協力して募金活動に取り組みます。6月13日に大田自治センターに 陸上競技部支援自動販売機が設置されましたので皆さん利用して下さい。

これを機に、支援の輪が一層広がるように取り組んでいきます。また、「文化祭」「体育祭」「学びピア」などの学校行事に参加し、学校と接する機会を増やすなかで、課題がみつかると思えます。

六、会員名簿委員会

委員長 玉浦 洋明

(昭和49年卒)

会員名簿委員会では、昨年まで2回還暦を迎えられる同窓生の皆さんに総会の案内をさせて頂きました。

住所変更の方も約二十名ぐらいおられ住所を調べ同窓会名簿への記事変更を続けて参りました。返信に全国さまざまなお住まいの方から返事をいただくのは、

高校駅伝で頑張る世羅高生が同窓生を元気づけていることが伝わって来ました。離れていてもふるさと母校に対する感謝の応援メッセージが沢山寄せられていることをこの紙面をお借りしましてお伝え致します。

現在名簿委員会では毎年卒業される方のデータを作っております。また今までの卒業生の皆さんのデータも管理しております。もしクラス会などで案内される場合、同窓会へ連絡いただきましたら、確認させていただきます。

尚近年は個人情報関係で、同窓生の情報を紹介するのはそれぞれの方に配慮した形になってまいりました。時代の流れに沿った会員名簿委員会のあり方を求めて参ります。

同窓会役員、会員名簿委員へご意見を寄せていただき改善をさせて頂いただけだと思っております。最後にクラス会などされて、住所データの更新出来る資料がありましたらお知らせいただき、名簿データの訂正をさせて頂いただければと思っております。これからも全国の同窓生のネットワークを大切にしていきたいと思えます。皆さんの活躍をお祈り申しあげます。



Handmade food and services advertisement for 'Tiny' (タイニー) restaurant, including contact information and website.

Advertisement for 'Asakura Auto' (アサクラオート) shop, featuring car services and contact details.

ニューヨーク姉妹校との国際交流支援について

NPO世羅国際交流

教育ネットワーク
代表 瀬尾 圭三
(昭和36年卒)

昨年に引き続き、今年も報告をさせていただきます。

世羅高校は、平成二十三年ニューヨーク州ソントン・ドノバン校(略称TD校)と姉妹校提携を結び、今年で四年目を迎えました。主たる事業は両校の生徒が毎年相互に二週間の予定で短期留学します。留学生の人数は八名を目安に、参加者を募集し世羅高校生は三月にTD校生徒は六、七月に留学します。それを支援するために私たちはNPOを組織し、地元企業の皆さん、地域の有志の皆さんに会員・募金等ご協力をお願いしております。

NPOの目的は、世羅高校の国際交流の発展、国際化へ立ち向かって行く人材の育成、小中学校と



の国際交流を通じた連携、究極は世羅町挙げての国際交流に寄与することができれば幸いです。

二週間の短期留学を通じた主な事業は、年によって違いがありますが、TD校生徒の受入事業は、世羅高生との交流、授業参加、クラブ活動参加、小中学校との交流、町内三中学校、一部小学校との交流(日程的に全ての小学校との交流が困難)、世羅菜園、世羅幸水農園、セラケム等の見学、大手門さんでの和菓子づくり体験、広島平和公園での平和学習、宮島見学、大和ミュージアム、自衛隊等の見学はTD校の授業参加、TD校生徒との交流、ニューヨーク市内世界的名所見学等盛りだくさんのメニューが用意されます。滞在は双方とも当該校生徒のいる家庭でのホームステイです。二週間のホームステイは生徒にとって、多くの面で語りつくせない大きな成果となっております。なお、県立学校の海外留学等国際交流は当初は世羅高校は先進校でしたが、今や全ての県立学校が姉妹校を提携するまでになりました。ただし、ニューヨーク州内の学校との姉妹校は未だ世羅高校のみと伺っています。この事業を推進、継続し、発展させるためには、資金が必要です。支援方法は会員又は賛助会員の立場で、またはご寄付といった方法もあります。同窓生の皆様のご理解、ご協力をよろしく願います。



世羅高校国際交流推進会議について

世羅高校国際交流推進会議

会長 小島 敏文
(昭和44年卒)

この会は、ケニア共和国をはじめとする諸外国との国際交流活動を通じて、教育及びスポーツ、社会教育、文化活動等の相互交流を推進し、世羅台地を中心とする地域の活性化を目的に結成され、以来十三年間、ケニア共和国からの留学生の受け入れ、台湾「大同高中学」との交流を進めてきました。おかげさまで会の活動も円滑に進み、着実にその成果も現れていきます。

とりわけケニア人留学生の活躍は目覚ましいものがあります。生活態度はまじめで、陸上競技に対する情熱はすばらしいものがあります。日本人選手が受ける影響も大きく彼らと練習を共にすることで、競技力・人間性が向上しているものと思えます。

今年度は一名の留学生を受け入れていきます。彼らの日本での生活費はこの会の会費から捻出されています。同窓会の皆様方には、全国大会出場時の寄付等でもご支援



いただいております。誠に恐縮ではあります。この会の趣旨をご理解いただき、ご支援、ご協力のほどよろしく願います。

学校便り

①進路指導部

昨年度(平成二十五年度)卒業生の最終的な進路は、四年制大学六七名、短期大学七名、専門学校四八名、就職(公務員を含む)は二八名でした。広島大学をはじめとする国公立大学の合格者は十八名、難関私立大学へは九名の合格者でした。国公立大学については、センター試験が二年連続で難化し、特に文系の生徒に厳しい入試となりました。その中で、最後までよく頑張ったと思います。就職に関しては、景気に若干の薄日が差したとも言われ、求人数も前年度より増加しましたが、依然として厳しい状況が続いています。そのような中で、就職内定率は九六%を達成しました。未内定だった生徒も、卒業後すぐに内定をいただくことができました。

子どもの人口が減少している一方で大学数は増加しており、大学全入時代に突入しているという状況となっています。人気の大学とそうでない大学との格差が広がっているとも言われています。選ばなければどこかの大学に「合格できてしまう」という状況ともなっています。しかし、大学卒業後の就職活動においても、学力を重視する流れが強まっているという

警備保障事業部(広島県公安委員会第434号)
人材派遣事業部(般34-300074)

じつとく
株式会社 實徳コーポレーション

〒729-3302 広島県世羅郡世羅町川尻1288-1
TEL(0847)25-5271 FAX(0847)25-5272
(0847)22-0500

出光興産株式会社販売店

芸備燃料株式会社

代表取締役 坂 東 辰 男

本社
〒722-1112 世羅郡世羅町本郷812-4 TEL 0847-22-2121
世羅バイパスSS
〒722-1112 世羅郡世羅町本郷654-1 TEL 0847-22-1151
世羅配送センター
〒722-1111 世羅郡世羅町寺町1871-1 TEL 0847-22-1136

情報も耳にします。進学希望者は学校選びが非常に重要となっております。安易に志望校を決めてしまわず、自分に合った学校をしっかりと見極め、少しでも高い目標を目指して努力し、その希望が実現できるよう指導していきたいと考えています。

また、就職希望者にとっては、自分の適性をよく考えつつ、本当に自分を生かすことができる職場がどのような職場であるかを考えること、働くとはどういうことかをしっかりと考えることが大切となつてきます。意識向上の取組みをつづけていきたいと考えています。

本校は今年度も、広島県教育委員会から学力向上事業「チャレンジハイスクール」の指定を受けました。チャレンジハイスクール事業では、県内指定校の教員とともに大学入試センター試験に向けて共通教材を作成するなど教科指導力を向上させるとともに、生徒の進路意識の向上に向け、大学の研究室訪問、企業訪問、そして他校生徒との合同学習合宿などを実施していく予定です。

また、今年度も放課後や長期休業中の補習・世羅塾などを通して学力向上に努めるとともに、面接指導などを繰り返して、就職に向けた指導も行なっていく予定です。進路指導部をはじめ、全教職員で生徒の進路実現に向け努力してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。

② 農業経営科

農業経営科への学科改編から5年が経ち、二回目の卒業生を送り出すことができました。学科の目標や取り組み内容もだんだんと充実し、農業の実践活動とおおして、生命の大切さや地域貢献に取り組む積極的な姿勢を学習しています。また、二学年からはより専門性を深めるため、類型別(地域営農、六次産業)に分かれ、その課題解決に向けた実習・調査・研究をすすめています。

最新の設備を備えた食品製造棟では、ビスケットやジャムなどの加工・製造は勿論のこと、商品開発に向けたブランディング・食材研究を行う施設も充実しています。農場においては、新設された環境制御温室や農業実習室を活用することで、食糧供給や環境保全面をより先進的な視野で学習することができます。

また、そのほかの取り組み事例として、世羅町と共同した「脱温暖化プロジェクト」生ゴミ堆肥プロジェクト「ダイズ商品化プ



ロジエクト」など、「エコ」や「地産物」を活用する取り組みを行っています。

学科の歴史はまだ新しく、課題研究の成果や進路について注目をされるところだと思えます。先ずは一步ずつ、そして、「農業科」の先輩方が築かれた歴史に近づけるよう、努力していきたいと思えます。

③ 生活福祉科

生活福祉科では、栄養や調理、ファッション、情報処理、保育、福祉、ビジネススマナーなど、生涯にわたって必要となる生活に関する知識と技術を身につけ、生活産業のスペシャリストとして働き、社会に貢献できる人材の育成をすすめています。そのために、高度な資格取得をめざし、介護福祉士

国家試験受験資格(平成25年度入学生までが対象)や介護職員初任者研修、ビジネス文書検定・サービス接遇検定・家庭科技術検定などを実施するとともに、地域交流・ボランティア活動を積極的にに行い、働くことの大切さや喜びを学び、高齢者や子どもとの触れ合いなどの活動を通して、地域の福祉に貢献できるように取り組んでいます。

夏休みに、1年生は3日間のインターンシップ(就業体験実習)、福祉類型では、2年生は5日間、3年生は10日間の介護施設実習に行かせていただきます。同窓会や地域の皆様には大変お世話になります。今後ますますの

ご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。

④ クラブ活動の特記事項

ユースオリンピック大会 アジア地域予選を通じて アジア競技部 新迫 志希

私は、今回ユースオリンピック大会アジア地域予選に日本代表として走らせていただきました。アジア地域予選を勝ち上がって世界大会に出ることが私の目標でしたが、結果は四位で自分の走りも満足にできず悔しい思いをしました。

この大会を通じて私は、自分の今いる環境に感謝したいという気持ちになりました。初めての国際試合で戸惑う場面も何度かありましたが、日本のように水が思う存分



進物の玉浦

☎0847-22-1107
FAX.0847-22-1567

〒722-1121
世羅郡世羅町西上原612-2
営業時間/AM8:00~PM7:00
年中無休

いつでも電話でお気軽に
総合建設業

(有)坂上建設

TEL 23-0231(代)
FAX 23-0232
夜間 23-0511

世羅町宇津戸3453-1



飲めるとは限らないし、急に気温が高くなりその変化に慣れないこともありました。食事にも気を配り、体調管理には特に気を付けました。このタイでの五日間は私にとって大変貴重な時間となり良い経験となりました。当たり前だと思っていたことが当たり前ではないのだと改めて実感しました。

この経験を夏に行われるインターハイ、また、チーム一丸となつて優勝を目指している全国高校駅伝に活かしたいと思っています。そして、自分たちの練習を毎日考えてくださっている岩本監督やコーチの方々、沢山の支援や応援をしてくださる地域の方々、さらには自分たちが活躍することを誰よりも願ってくれている家族に本当に感謝したいです。私が今世羅高校で走ることができているのは沢山の支えがあるからだと感じています。支えてくださる方々のために私は走ることで恩返ししたいと思います。全国高校駅伝で優勝できるように今できる努力を最大限していきたいと思つています。また、少しでも沢山の方の応援に出来るように頑張りますので、これからも世羅高校陸上競技部のご支援と応援をよろしくお願いします。



地域だより
東京校友会

会長 十河 研一
(昭36年卒)

東京校友会の主な活動は、年二回の会報発行、親睦会及び十一月の総会となつております。

今年に入つて、先ず一月には、「隅田川七福神めぐり」を日影館高校同窓会の東京馬洗会の方などのご参加を頂いて行いました。

四月五日には、武蔵野の面影を残す「井の頭恩賜公園」において観桜会を催し、桜吹雪の舞う中で楽しい一日を過ごしました。

会報「とうきょう世羅」は、四月六日に第三十八号を全会員に宛てて発送し、現在次号を十月五日の発行に向けて鋭意編成中です。

総会は、十一月十六日(日)正午から、東海大学校友会館(霞が関ビル)において、小島同窓会長、森嶋校長など多くの来賓をお迎えし、特に本年は、幸水農園からも出席いただいたその生い立ちや日本農業賞大賞受賞などの話を伺うことにしております。

陸上競技部への応援賛助金では、毎年多くの会員から浄財が寄せられておりますが、今年も引続き募集しており、十二月には西京極陸上競技場での活躍を応援できることを楽しみにしております。

東京校友会は、駅伝をはじめ国際交流や地元密着の教育等特徴ある学校として発展する母校を支援するため、ホームページを開設して校友会活動への参加の呼び掛けを行うなど活性化に努めるとともに、会報による世羅物産のPRなども行っております。

総会後はお互いの近況や思い出を語り合いながら、カラオケやビンゴゲームなどを楽しみ、種々取り寄せた郷里の特産品をお土産に再会を約し散開しております。

役員会は毎年四、十一、三月に開催します。四月には総会案内状の発送の準備、十一月には高校駅伝の応援、カンパのお願いの発送をします。特に高校駅伝全国大会出場の際は、京都の西京極競技場に応援に行きます。また関西で行われる高校生の全国大会応援など、関西同窓協議会や県人会との交流も行っています。

近畿同窓会

会長 松尾 千九三
(昭和25年卒)

近畿同窓会の活動状況をお知らせするとともに、近畿に居住しておられる同窓生の皆さんの積極的なご参加をお願いします。

昨年度は総会を六月に大阪梅田で開催しました。例年母校から校長先生が出席され、世羅高の近況をご報告いただいております。また同窓会長、世羅町役場からは代表の方の参加をえて、郷里の現況をお聞きし、懐かしさとともに頼もしさを感じております。

この同窓会報をご覧になつた近畿在住の皆さん、左記事務局にご連絡ください。一人でも多くの同窓生の参加をお待ちしております。

広島県立世羅高等学校近畿同窓会事務局
吹田市寿町二一七七一
金行 陽三方
☎〇六一六三八一一七一九

呉支部

支部長 大原 重徳
(昭和33年卒)

呉中央橋展望塔からの点描も最終となり、呉の東側を望みたい。目の前に聳えているのが休山である。山頂にテレビ用の鉄塔が見える。呉市の北側の灰ヶ峰と共に、市民のハイキングや憩いの場である。また、ここから見る呉市の夜景は殊の外美しい。標高四九七mある。

世羅大地の宝石 根域制限栽培ブドウ

Gem Grapes

ジェムグレープス

生産者 さなだ農園 眞田悦次
はな工房ばくにて8月1日より販売 TEL 0847-22-1445

感性が光るアートな写真
残しておきたい思い出の写真

アート写真光房 **阿部写真館**

アート光房(EXFUZE) 世羅町本郷
TEL:0847-22-0213
http://www.cameraman-abe.com/
Eメール: info@cameraman-abe.com

目線を少し下げて山麓を見よう。台地部にこんもりと入船山がある。日本歴史公園百選に選ばれた、入船山公園である。古くは大正3年から亀山神社が、近代は明治22年から呉鎮守府司令長官舎、戦後は占領軍司令長官舎がおかれた場所を公園として整備された。

公園の北側には「入船山記念館」「呉市立美術館」の文化ゾーンと、南側の「市民広場」と呼ばれる多目的広場からなる総合公園である。

北側の文化ゾーンは、自然林に囲まれていて、記念館は呉市の歴史の資料や旧海軍資料が展示され、本館にあたる旧呉鎮守府司令長官官舎は、国の重要文化財である。

美術館はブルデルやルノワールや地元出身芸術家作品を展示、枯山水庭園を配する。

美術館に行くには、緩い坂道になつた赤レンガ敷きの並木道を登る。昭和56年、開館に合わせ整備され、市民の散策・憩いの場として親しまれている。昭和62年に「美術館通り」と名称が決められ、「手づくり郷土賞」と「日本道百選」にも選ばれている。

南側の「市民広場」は、旧海軍の第一練兵場で、戦後はイギリス連邦占領軍の式典などに使用された。現在は市民に開放され、各種行事・集会やスポーツ大会等で賑う。



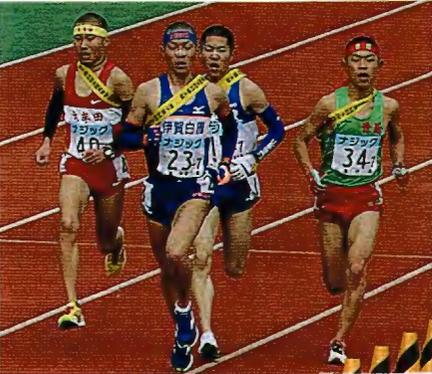
第64回全国高校駅伝報告

陸上競技部 部長 小山 英士

(昭和50年卒)

昨年十二月に行われた、第64回全国高等学校駅伝競走大会では、2年ぶり8度目の優勝を目指してレースに臨みましたが、残念ながら2時間3分59秒で第4位という結果に終わりました。

大会を振り返ってみると、1区では序盤からうまくレースの流れにのり、区間10位ながらトップと9秒差という絶好の位置で2区に標をつなぎました。2区は区間14位で1つ順位を下げましたが3区は区間1位で走り待望の先頭に立つことができました。4区に標が渡った時点で2位とは23秒差そして3位とは46秒の差がついていました。後はこの差をどうにか保ち逃げ切ることができたかというところで5区・6区では徐々に差を詰められ、6区終了時点で2位とは2秒差、3位と3秒差、4位と15秒差となっていました。そして7区では、後続の3チ



ームに差を詰められ4チームが並走のまま競技場に帰ってくるということになり、トラックでの激しい競り合いの中、残念ながらトップと6秒差で4位という結果になってしまいました。

大会終了時からこの結果を真摯に受け止め、もう一度、日々の練習に取り組み姿勢や生活態度を見直し、63回大会の雪辱を果たし、自分たちの目標である全国大会優勝を目指して努力しているところです。

また、今年も有望な一年生が多く入部してくれましたので、上級生ともども今後さらに精進を重ね、日々の練習や生活をより充実したものにして、11月の県大会を無事クリアして12月の都大路を目指していきたいと思います。

同窓生のみなさまがたには、後援会への寄付等いつもお世話になつておりますが、今後とも絶大なご支援をいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

平成二十六年度陸上競技部OB・OG総会・懇親会詳報

陸上競技部OB・OG会事務局長

神田 敬州

(昭和57年卒)

去る五月三日、リーガロイヤルホテル広島において、毎春恒例の陸上競技部OB・OG会総会ならびに懇親会が約百名の会員の出席のもと盛大に開催されました。

総会第一部では議事に続いて新入会員入会式が行われ、この春母



校を巣立った新入会員十九名を代表し、大島直人さんが「伝統と栄光に輝く世羅高校陸上競技部OB・OG会の二員として誇りと自覚を胸にこれからの人生を歩んでいきます」と力強く誓いの言葉を述べました。

また、功労賞・優秀選手賞授与式では功労賞に元短距離・フィールドの監督の三宅勝次先生、優秀選手賞にスーサン・ワイリムさんがそれぞれ受賞され、宮広重夫会長より記念の盾等が授与されました。

厳粛な空気のもとで挙行された第一部に続き、第二部の懇親会では終始和やかなムードのなか一同で旧交を温め合いました。懇親会も佳境を迎えると、この懇親会を格調高く演出すべく平成卒業組によつて極秘裏に結成された「世羅高OBおっさんAKB」のメンバーが今や国民的ヒット曲となつた「恋するフォーチュンクッキー」に合わせ満を持して登場。思わず

吹き出してしまふコミカルな衣装と一糸乱れぬみごとな踊りに場内は興奮と爆笑のるつぽと化し、「今年一年分笑わしてもらうたー!」来年もおっさんAKBに期待しとるで!と絶賛の音が飛び交うなど、懇親会の盛り上がりは最高潮に達しました。



原稿募集のお願い

クラス会、同期会報告、近況報告、感想等(写真と四百字程度)、皆様からのお便りをお待ちしております。送付先は、世羅高校同窓会広報委員会宛です。

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。編集に手間取り校正が不十分ですが、なんとか会報第16号をお届けすることができました。ご多忙のなかご寄稿くださいました方々に感謝申し上げます。

(広報委員会)